

2024年5月

Dell PowerStore の耐久性

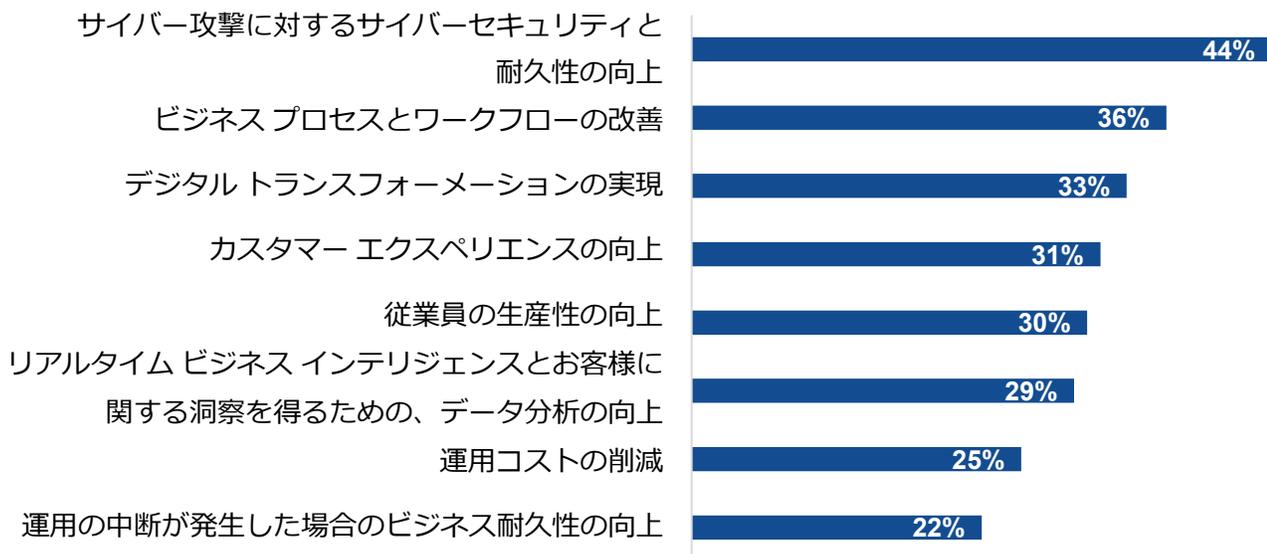
IT 検証アナリスト、Craig Ledo

IT の課題

TechTarget の Enterprise Strategy Group の調査では、2024 年にビジネス管理チームに対して IT 投資を正当化する上での最も重要な考慮事項は、サイバー攻撃に対するサイバーセキュリティと耐久性の向上(44%)、およびビジネス プロセスとワークフローの改善(36%)であることが示されています（図 1 を参照）。¹ 組織は、耐久性とサイバーセキュリティポリシーを改善する必要があることを認識していますが、IT プロフェッショナルへの要求が高まり続けていることを考慮すると、これ以上の複雑さを受け入れる余裕がないことも理解しています。

図 1 : IT 投資に関する主な考慮事項 – サイバーセキュリティと耐久性の向上

今後12か月間に組織のビジネス管理チームに対してIT投資を正当化する上で、最も重要な考慮事項になると思われるのは次のうちどれですか？
(回答者の割合、N=903、5つまで回答可)



出典 : Enterprise Strategy Group (TechTarget, Inc. の部門)

¹ 出典 : Enterprise Strategy Group 調査レポート、『[2024 Technology Spending Intentions Survey](#)』（2024年2月）。

Enterprise Strategy GroupによるこのTechnical First Lookは、デル・テクノロジーズの委託を受けて作成されたもので、TechTarget, Incより使用許諾を受けて配布しています。

Dell PowerStore の耐久性

デル・テクノロジーが最近発表した PowerStore Prime は、オールフラッシュストレージの新たな進化とビジネス上の戦略的優位性を兼ね備えた包括的な統合製品です。Dell はテクノロジー リーダーとして、広範なエンタープライズ ポートフォリオや、信頼できるパートナーおよびディストリビューターからなるグローバル エコシステムなどを有する独自のポジションを築いており、PowerStore Prime には、組織がそのポジションを活用できる製品およびプログラムのコンポーネントが含まれています。

PowerStore Prime は、プラットフォームの耐久性機能に次のような複数の機能拡張を提供します。

- **広範な OS サポート**により、広く使用されている Metro ボリューム機能が、VMware に加えて、Windows および Linux 環境をサポートするようになりました。Metro ボリュームは、あらゆるワークロードに対して、目標リカバリー時間(RTO)ゼロ、および目標リカバリー ポイント(RPO)ゼロで、アクティブ/アクティブの可用性を提供します。また、サードサイト監視を介してフェールオーバーとフェールバックを完全に自動化し、ボリュームとボリューム グループの両方をサポートします。
- **ファイルおよびブロックの新しい同期レプリケーション**により、サイト全体で 100%のデータ整合性が確保されます。またデータロスをゼロに抑え、複数のクラスターにまたがるボリューム、ボリューム グループ、ネットワーク接続型ストレージ サーバーを保護できます。
- **最大 3 倍のスナップショットと 8 倍のレプリケーション ボリュームをサポート**し、ローカルまたはサイト間でより多くのワークロードを保護します。

これらの機能拡張により、PowerStore の既存の耐久性機能セットが強化されます。堅牢なサイバーセキュリティだけでなく、この機能拡張には次のような、ローカル、リモート、クラウドの保護方法の包括的なラインアップも含まれています。

ローカルでの保護

PowerStore を使用することで、ユーザーはローカルの PowerStore アレイ上のデータを効率的に管理、保護、リカバリーできます。

- **Dynamic Resiliency Engine** は、パフォーマンスと効率性の両方をインテリジェントに管理しつつ、マルチドライブの同時障害から保護します。
- **セキュアで不変なローカル スナップショット**により、スナップショットが作成されると、事前に定められた有効期限日まで変更または削除が不可能になり、データ リカバリーの信頼できる参照ポイントとして機能します。
- **ファイル レベル保存期間設定 (FLR)**は、指定された保存日までファイル データを削除や変更から保護することで、ファイル データの管理とセキュアな保護をサポートします。これは、証券取引委員会規則 17a-4(f)の要件を満たすように設計されています。

リモートでの保護

PowerStore を使用すると、ユーザーは遠距離からでもデータにアクセスして、安全な状態に維持できます。

- **非同期レプリケーション**は、地理的に離れたデータセンターやディザスター リカバリー サイト全体のブロック、ファイル、または Virtual Volumes (vVols)データを保護し、RPO ベースのビジネス継続性を実現します。フェールオーバーやフェールバックは Dell PowerStore によって完全に処理されます。
- **同期レプリケーション**は、ローカル データセンターまたはディザスター リカバリー サイト全体のブロックおよびファイル データを RPO ゼロで保護し、ビジネス継続性を確保します。フェールオーバーとフェールバックは Dell PowerStore によって完全に処理されます。

- **Metro ボリューム同期レプリケーション** (アクティブ/アクティブ) は、Windows、Linux、VMware のワークロードについて、都市圏距離 (100 キロメートル (60 マイル)) にわたって、ミッションクリティカルな無停止の可用性を実現します。また、自動フェールオーバーおよびフェールバックのためのサードサイト監視機能も備え、「スプリット ブレイン」シナリオを回避します。
- **統合リモート バックアップ**では、PowerStore から Dell PowerProtect DD の物理アプライアンスまたは仮想化アプライアンスに直接バックアップ可能で、シンプルかつ効率的にバックアップを管理できます。

クラウド バックアップおよびモビリティ

PowerStore の導入により、組織は拡張性、コスト効率、データ冗長性の目的でデータをクラウドに移動できます。

- **統合クラウド バックアップ**により、データを Dell APEX Protection Storage for Public Cloud にオフロードできます。これにより、あらゆるパブリッククラウド プロバイダーにおいてデータの削減と迅速なリカバリーをさらに向上させ、コストパフォーマンスに優れたクラウド アーカイブを実現できます。
- **APEX サブスクリプション**を利用して、相互接続されたサードパーティのコロケーション施設、組織のデータセンターまたはエッジ ロケーションに、ストレージ アズ ア サービス リソースを容易に導入できます。
- **双方向のワークロード モビリティ**を、PowerStore と APEX Block Storage for Public Cloud 間で実現します。

サイバーセキュリティ

PowerStore を使用することで、組織は今日のサイバーセキュリティの脅威の一步先を行くことができます。

- **ネイティブの静止データ暗号化**には、外部キー マネージャーのサポートと自己暗号化メディアが含まれます。
- **組み込み型のハードウェア セキュリティ**には、不変のハードウェア ルート オブ トラスト、セキュア ブート チェーン オブ トラスト、デジタル署名されたファームウェア アップデートが含まれます。
- **高度な脅威検出**は、セキュリティ構成の逸脱の検出、セキュアな Syslog イベントとエクスポート、ウイルス対策とイベント パブリッシングの機能を提供します。
- **トラステッド管理者アクセス制御**により、多要素認証(MFA)、ロール ベースのアクセス制御(RBAC)、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)がサポートされます。
- **セキュリティ認定**には、セキュリティ技術導入ガイド(STIG)、NIST USGv6-r1、連邦情報処理標準 140-2 が含まれます。PowerStore は米国国防総省の認定製品リスト(APL)にも登録されており、国防総省の情報ネットワークへの導入が認められています。

PowerStore は高可用性を追求して設計されており、ワークロードの可用性を常時維持しながら、データへのアクセスを継続的に提供します。

デモレポート

Enterprise Strategy Group は、新しい Dell PowerStore Prime ソリューションの機能をレビューし、これによりお客様が得られるメリットについて評価しました。PowerStore Prime は、ローカル、リモート、クラウドのデータ保護機能を提供し、組織のデータの高可用性とサイバー脅威に対する耐久性を確保します。このソリューションの主なメリットを以下に示します。

- **シンプルさ**。あらゆる PowerStore アレイ上のデータを効率的に管理、保護、リカバリーします。
- **アクセシビリティ**。遠距離からデータにアクセスしたり移動させたりすることが可能で、安全な状態に維持できます。

- **モビリティ。**クラウドにデータを容易に移動して、拡張性、コスト効率、データ冗長性のオプションを活用することができます。
- **耐久性。**99.9999%の可用性でデータを保護します。

PowerStore を使用すると、ユーザーは個々のワークロードに対して迅速かつ容易に保護レイヤーを適用できます。ユーザーは、単一のワークフローで 5 種類のデータ保護にアクセスし、カスタマイズされたポリシーを作成して、スナップショット、複数の種類のレプリケーション、クラウド バックアップを任意の数のボリュームに同時に適用できます。

結論

拡大し続けるデータやストレージ インフラストラクチャの構築、維持、発展に伴う課題は絶えませんが、正しく対処することで得られる可能性のあるビジネス上のメリットは、かつてないほど魅力的なものになっています。さらに、進化するサイバーセキュリティのランドスケープに IT 組織が対応する中で、ストレージ インフラストラクチャとデータ保護の重要性はますます高まっています。例えば、バックアップは今やランサムウェアの主要な攻撃ベクトルとなっており、組織は攻撃から迅速にリカバリーする最良の機会を奪われています。ランサムウェア攻撃から保護するには、組織は、プライマリー ストレージ環境に組み込まれたセキュリティ保護ツールの利用を検討する必要があります。こうしたツールには、信頼できるポイントインタイム バックアップからの迅速なリカバリーを可能にするセキュアな不変のスナップショットや、ファイル データの管理と保護に役立つ FLR などが挙げられます。完全な保護を保証するものではありませんが、ストレージはサイバーセキュリティ戦略の一環として重要なツールになりつつあります。

Enterprise Strategy Group は、Dell PowerStore ソリューションによって、ローカル、リモート、クラウドのデータ保護機能を強化し、ワークロードを保護できることを明らかにしました。PowerStore は堅牢なセキュリティ実装も提供します。これにより、企業はゼロトラスト サイバーセキュリティ モデルの導入を加速し、データ保護を強化し、サイバー攻撃を阻止して対応できるようになります。さらにこの調査で、PowerStore には、管理が非常に容易で、起こり得るエラーの排除を支援する包括的なデータ保護機能が備わっていることも明らかになりました。

ローカル、リモート、クラウドのデータを網羅する総合的なアプローチにより、管理作業を最小限に抑えつつ、組織のデータ保護機能をモダナイズすることをお考えの場合は、Dell PowerStore Prime をご検討ください。

Dell PowerStore の詳細については、[Dell Technologies PowerStore](#) を参照してください。

©TechTarget, Inc. or its subsidiaries. All rights reserved. (不許複製・禁無断転載) TechTarget および TechTarget のロゴは TechTarget, Inc. の商標または登録商標であり、世界各国の法域で登録されています。BrightTALK、Xtelligent、Enterprise Strategy Group などのその他の製品およびサービスの名称とロゴは、TechTarget またはその子会社の商標である場合があります。その他のすべての商標、ロゴ、およびブランド名はそれぞれの所有者の所有物です。

本書の記載内容は、TechTarget が信頼を置く情報源からの情報に基づいていますが、その情報を TechTarget が保証するものではありません。本書には、TechTarget の見解が記載されていますが、変更される場合があります。本書には、現在入手可能な情報に基づく TechTarget の推定と期待値から導き出された予想、見通し、その他の予測的な記述が含まれている場合があります。これらの予測は業界のトレンドに基づいており、変動要素や不確実性を含んでいます。したがって、TechTarget は、本調査に記載されている特定の予想、見通し、予測的な記述の正確性に関して、いかなる保証もしません。

TechTarget の明示的な同意がない限り、ハードコピー形式や電子的方法などのいずれの方法においても、未承認者に対する複製や転載は、本書の全体または一部にかかわらず、米国著作権法の侵害であり、損害賠償の民事訴訟、および該当する場合は刑事訴訟の対象となります。ご不明な点がございましたら、クライアント リレーションズ(cr@esg-global.com)にお問い合わせください。